

「現状」を一知る

冒頭、私たちが住む地域でも、重大事件は起こりうることを再認識していただく意味で、飯塚市で起きた3件の事件について触れました。さらに、昨年発生した飯塚市（旧穂波町）を中心とした数件の放火事件など、私たちが生活する地域でも重大事件は起こりうるのです。

また、街頭犯罪も毎日のように数多く発生しています。

街頭犯罪とは、車上ねらいや空き巣、ひったくりなど金品、物品を狙った犯罪がおもで、昨年一年間に、桂川町では115件。飯塚警察署管内では、2414件も発生しています。毎日平均6件から7件の街頭犯罪が起きています。

金品を狙った犯罪とはいえ、「もし泥棒などが家に入ってきたその時に、その場に居合わせたら」と考えるとゾッとします。

これらの犯罪に遭わないためには、どうすればよいのでしょうか？

犯罪を防ぐために、私たちにできることはないのでしょうか？



飯塚警察署管内で発生した街頭犯罪状況

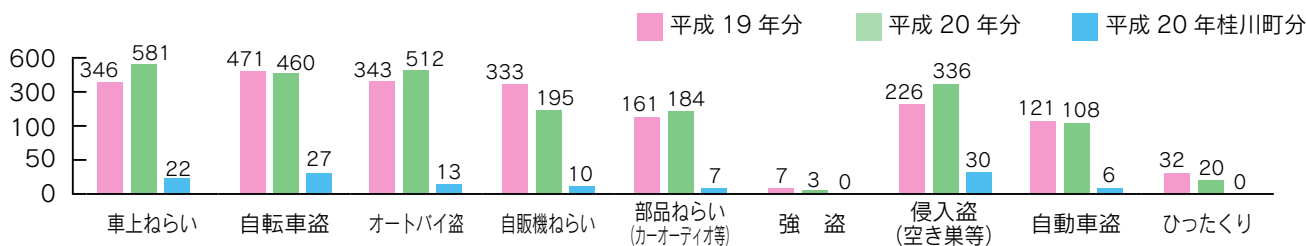
飯塚警察署管内・・・飯塚市、嘉麻市一部（旧稲築町）、桂川町

◆平成19年、20年 街頭犯罪件数

街頭犯罪	車上ねらい	自転車盗	オートバイ盗	自販機ねらい	部品ねらい (カーオーディオ等)	強盗	侵入盗 (空き巣等)	自動車盗	ひったくり	合計
平成19年	346	471	343	333	161	7	226	121	32	2040
平成20年	581	460	512	195	184	3	336	108	20	2399

◆平成20年 桂川町校区別街頭犯罪件数

街頭犯罪	車上ねらい	自転車盗	オートバイ盗	自販機ねらい	部品ねらい (カーオーディオ等)	強盗	侵入盗 (空き巣等)	自動車盗	ひったくり	合計
桂川小学校区	15	24	10	8	5	0	22	4	0	88
桂川東小学校区	7	3	3	2	2	0	8	2	0	27
合計	22	27	13	10	7	0	30	6	0	115



「死角」を一無くす

私たちが住む地域で多く発生している犯罪の発生場所、発生状況には、「死角」という一つのポイントが存在します。

「表通りから死角となる家の裏側からの侵入」「夜間、人の目が届かなくなる駐車場での上荒らし」「コンビニ駐車場などで多い「ちよつとだから」と車のカギをかけずに入店や、助手席など目につく場所にバッグを置いて車を離れるといった意識の死角」等々。

これら「死角」を無くし、安全・安心のまちづくりを実現するには、自然災害への対策などで耳にする「自助、共助、公助の連携と協働」の取り組みを、防犯活動でも推進していくことが有効ではないでしょうか。

防犯における自助とは、まず自分が、家族の安全や家財を守るために防犯対策を施し、家族皆で防犯について意識を高め、犯罪に遭わないようにすることです。

防犯における共助とは、隣近所とのコミュニケーションや、地域での見守り活動によって「死角」を無くし犯罪者が入り込めない地域をつくることです。

防犯における公助とは、警察や行政によるパトロールや街灯設置など、「死角」の無い町づくりを行っていくといったことです。

そしてこれら自助、共助、公助が連携し、協働して取り組んでいけば、さらに安全で安心してくらせる町づくりができるのではないのでしょうか。